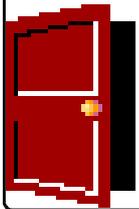


令和5年度《昨年度に続き、今年度も読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



読書活動への扉を開く！

No.69

桑村小学校令和5年12月18日

文責 渡邊

とても素敵な絵本との出会い!!

第6学年教室に配架されている『きみに ありがとうのおくりもの』(宮野聡子作 教育画劇発行 2020年7月)の絵本を読んで、他者を愛おしく思う感情の大切さを強く感じました。そこで、そのシリーズを全て読みたくなり本屋さんに出掛けました。そこには、『きみに ありがとうのおくりもの』とともに、『いちばん しあわせなおくりもの』(宮野聡子作・絵 教育画劇発行 2016年4月)と『あなたにあいたい』(宮野聡子作・絵 教育画劇発行 2022年7月)が並べられていました。



【宮野さんの作品】

「きみとここにいるだけでぼくはともしあわせなんだ。かぜのおとをきいたり、いいかおりのはなをみつけたり、ゆうひをながめたりする。そのとき、きみがそばにいてくれたら、それがいちばんしあわせなおくりものだよ」(『いちばん しあわせなおくりもの』(宮野聡子作・絵 教育画劇発行 2016年4月より引用)という文章は、五感を働かせ感性を育む取組をしている本校にピッタリの表現で、絵本のすばらしさを強く感じました。

そして、『あなたの すてきな ところはね』(玉置永吉作、えがしらみちこ絵 図書印刷株式会社 2021年3月)も手に取りました。



【絵本の紹介】

「なにがあってもわすれないで。うれしいときもかなしいときもしっぱいしちやってたちどまっても、あなたはとってもすてきなひと。あしたからもずーっとね。ここにいてくれてありがとう」『あなたの すてきな ところはね』(玉置永吉作、えがしらみちこ絵 図書印刷株式会社 2021年3月より引用)の文章もまた、心がとても熱くなりました。

成長する子供に対して大きな期待を寄せてしまう大人がいます。(自分も含めてですが…)でも、我が子が誕生したときの感動をいつまでも大切にすべきなのですね。

絵本は、日本語のもつすばらしい響きをも感じさせてくれるすばらしい図書です。

----- 切り取り線 -----

「読書活動の扉を開く」(12月18日号)を読んでの感想

()年()